

教科名		保健体育		科目名	保健		
科目の目標		個人および社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していくための資質や能力を育てる。					
履修学年 (必・選)		2年 必修		学科	普通	単位数	1単位
授業形態		一斉授業 ・ グループ別授業 ・ 一斉実習					
教科書		現代高等保健体育		副教材	「現代高等保健体育ノート」 ※適宜ワークシートを配布し、使用		
出版社	型番	大修館書店	保体304				
1 評価の規準		<p>【関心・意欲・態度】 健康・安全に関心を持ち、保持増進に努めるため意欲的に取り組む態度が身に付いている。</p> <p>【思考・判断】 健康・安全に関する諸問題について、その解決をめざして深く考え、自ら判断し、それらを表すことができる。</p> <p>【知識・理解】 健康・安全に関する諸問題について、解決に役立つ基礎的な知識を理解できる。</p>					
2 評価の方法		評価規準に基づき、定期考査・授業の観察・レポート提出・発表などを通じて評価する。学習活動全般から得られる資料に基づき、教科「保健」の目標及び内容に沿って多面的、総合的に行う。					
3 留意事項		個人の努力だけでなく、社会の一員として地球規模で健康問題を考える意識が必要である。そのため、常に新聞やニュース、インターネットなどで情報を集め、健康的な生活習慣を身につけたり、生活環境を守るための知識と能力を高めたり、また、生涯スポーツに向けて運動技能を高めたりして、適切な意志決定や行動選択を実践していくこと。					
月	学習項目		学習内容 (到達目標・提出物等)		学習ポイント (予習復習の仕方・参考図書等)		
4	2 生涯を通じる健康		<ul style="list-style-type: none"> ・生涯を通じて健康に生きていくために、現在、私たちが生きていく上でどのような健康問題があるのか、またそれらにどのように対処していけばよいのかを学ぶ。 ・性意識や性的欲求は男女で異なることを理解し、異性を尊重する態度を身につける。 ・性に関する正しい情報を選び、自分の意志と判断で行動することを理解する。 ・妊娠中や出産後の健康管理の重要性や配慮すべきことについて理解を深める。 ・望まない妊娠をしないことを学ぶ。 ・加齢にともない、心身が変化することを形態面および機能面から理解できるようにする。 		<ul style="list-style-type: none"> ・思春期における性的成熟に伴い、心理面、行動面の変化を客観的にとらえる。異性を尊重し、性に関する情報に正しく対処し、自らの意志で適切な行動を選択する。 ・親に、結婚や妊娠・出産、子育てについてなどの実体験を話してもらい、理解を深める。 ・性意識や性行動、結婚生活や妊娠・出産などについて、友達とブレインストーミングやロールプレイングを実施して具体的な対策を考えることにより、意志決定や行動選択について考え、理解を深める。 		
	1. 思春期と健康						
	2. 性意識と性行動の選択						
	3. 結婚生活と健康						
	4. 妊娠・出産と健康						
	5. 家族計画と人工妊娠中絶						
6. 加齢と健康							

7	7. 高齢者のための社会的取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・わが国の世界一の高齢化の早さの現状を知り、高齢者のための社会的取り組みについて学習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノーマライゼーションの理念に基づいた、バリアフリー住宅や商品の開発、交通機関の整備や街づくり、社会参加の場の提供、そして相互理解への取り組みを具体的に調べる。
9	8. 保健制度とその活用	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯を通じて健康を保持増進するためには、保健・医療制度は欠くことのできないものである。そのために、保健・医療制度のしくみや活用のしかたを学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・祖父や祖母に保健・医療制度をどのように活用して生活しているのかを聞き、現状や課題を把握する。
10	9. 医療制度とその活用		
10	10. 医薬品と健康		
11	11. さまざまな保健活動や対策		
	3 社会生活と健康		
11	1. 大気汚染と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちの生命には大気・水・土壌などの環境が必要不可欠である。これらの環境が汚染されたら、私たちの健康におよぶ影響は大きい。これらの環境を主体的に守るとりくみを考えるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ処理の過程・一般廃棄物の埋立処分場残余容量・し尿処理のしくみなどを調べる。 ・環境省廃棄物・リサイクル対策、クリーン・ジャパン・センター、日本水道協会、日本下水道協会、水俣市などのURLを参考に調べる。
12	2. 水質汚濁・土壌汚染と健康		
12	3. 健康被害の防止と環境対策		
1	4. 環境衛生活動のしくみと働き	<ul style="list-style-type: none"> ・環境や食品にかかわってどのような保健活動がおこなわれているのか、私たちはどのような役割を果たすべきか学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食品や環境の安全の確保には、厚生労働省、農林水産省、環境省などいくつもの省がかかわっている。インターネット上のホームページなどを調べて、必要な情報を収集する。また、内閣府国民生活局編「ハンドブック消費者」（国立印刷局より発行）から情報を得ることもできる。 ・スーパーなどで食品の安全性がどのように確保されているかを知るために、実際に食品を手にとりて調べる。
1	5. 食品衛生活動のしくみと働き		
1	6. 食品と環境の保健と私たち		
2	7. 働くことと健康	<ul style="list-style-type: none"> ・現代における職業病や労働災害について理科し、職場での総合的な安全管理や、人びととの積極的な健康づくりの方法などについて学ぶ。 	
3	8. 労働災害と健康		
3	9. 健康的な職業生活		